

団体名：菜 野果倶楽部

代表者：野村 寿長

所在地：京都府京丹後市久美浜町

〔ポイント〕

平成11年度、旧久美浜町の過疎・高齢化が進中で、交流人口の増加を図るため総合交流販売施設「くみはまSANKAIKAN」が開設されたのを機に農家 120 名で「菜 野果倶楽部」を結成。この施設を運営する(株)くみはま縣と二人三脚で事業に取り組む。

地元消費者を始め、近隣市町や京阪神方面からの観光客を対象に、農産物・魚介類・加工品の直売、観光農園の受入れ窓口、施設内レストランへの食材提供等を行うことで、農家所得の向上を図るとともに、併せて規格外品や自家用菜園の自家消費できない物なども取り扱うことにより、高齢者・女性の生きがい対策としても推進してきた。

【活動内容】

- 1．四季折々の農林水産物（果物、野菜、花き、林・水産物）が販売されており、特に夏季における果物、野菜の販売が主流であるが、冬季には、カキ・カニなどの魚介類の販売も行い、年中無休で直売所を開設している。利用客は町内（約60%）や京阪神方面からの観光客を中心に年間約47千人（平成19年度）で、リピーターも年々増加し、9年連続で売上を伸ばし、平成19年度の売上高は34百万円余りと順調な経営である。
- 2．直売施設に隣接するレストランで提供されるバイキングや仕出し弁当などにも菜野果倶楽部が供給する野菜がたっぷり使われ、地元の食文化を伝える食育の場となっている。
- 3．会員120名の中の、比較的若い担い手（40～50歳50人）とりわけ、丹後国営開発農地新規入耕者22名には、所得確保のひとつの場であり、日々の生活の情報交換の場でもある。また、女性・高齢者の会員は10a～30aの農地を利用して、多種類の農産物を栽培し、直売所アイテム数も380種類と多彩であり、小遣い収入が得られる場であり、いきがいとなっている。
- 4．倶楽部では、栽培講習会を開き、豊富な品揃えと土づくりを基本とした減農薬・減化学肥料栽培に努め、また、売り場では会員が順番に対面販売を行うとともに商品に生産者名を貼付するなど、信頼と安心を前面に押し立てた活動を展開している。